

Lion

IWATE

2021.5



332-B 地区アクティビティスローガン

サーバントリーダーを目指し!

地域にインパクトを!!

1R1Z

盛岡不來方ライオンズクラブ

L. 小苺米基弘

毎年行われる盛岡不來方ライオンズクラブの植樹会。今年は20回目となりました。

20年間こがねパーク高松（旧盛岡競馬場跡地）の地で行われました。

例年、高松小学校の生徒さんや上田地区活動推進会の皆さん、植樹の手伝いと、苗木をお願いしている小岩井農牧さんそして当クラブのメンバー、合わせて約100人の皆様と一緒にに行ってきました。しかし、昨年と今年は、コロナ禍！！小学校の皆さんと一緒にできないのは、本当に残念ではございましたが・・・。

できるだけ参加するメンバーを少なく。そして密を避けてという事で、当クラブのメンバー、名誉顧問、1R1Z・ZC、会長、環境保全委員長4人と盛岡市公園みどり課、そして小岩井農牧さんとだけで植樹を行いました。

毎年桜を植樹しており、今年はおカメ桜10本。スタートは20年前高松の池の釣り堀の

山側からスタートし、毎年々コツコツ10本。初年度に植えた桜は20年経ち、立派な大木になっており、時の流れを痛感いたします。また、20年の間植えるだけではなく、時には枯れた木の捕植も行っていました。

今年は節目の20回目。偶然にも今年こがねパーク高松の周辺をついに一周した事、そして、植樹本数は200本を超える数となり、「継続は力なり！！」という事、今回つくづく感じさせられました。

この200本の桜が、あのこがねパーク高松（旧盛岡競馬場跡地）に力強く育ち、そして、沢山の花をつけてくれる事そして、環境の大切さをくみ取って貰えればと願います。



1R2Z

二戸ライオンズクラブ

L. 田代 博之

世界中で新型コロナウイルス感染が猛威を振るい、人々の健康や生命を脅かし生活を困窮させています。その影響で昨年からは人と人との接触を伴う通常の例会行事や総会などが実施困難になるなどしています。二戸市では、今現在も一人の感染者も出してはいませんが、我がクラブでは2月3月と飲食を伴わない例会、そして会場である二戸パークホテルさんの徹底した感染予防を施していただき休むことなく例会を開催しております。

奉仕事業につきましても同様であります。4月11日（日）の午前10時から13名の参加で奉仕活動を行うことができました。

場所は、国道4号線から分かれて市内に入ってくる県道沿いに未舗装の大きな駐車できるスペースがあり、普段から市内外の多くの自家用車や商業車が休憩している場所です。

雪解け後はたくさんの廃棄物が捨てられて

おり、約1kmの両側を3年続けての清掃奉仕作業になりました。

今年も軽トラック1台では積み込めない程の量が集まりました。その後、分別をしてリサイクルセンターやごみ集積場に運んで終了となりました。「ゴミ捨て禁止」等の看板は立ててはいますが減る傾向にはないようです。

今、世界で問題になっているマイクロプラスチックの素となるペットボトルやコンビニ弁当容器は例年より増えてきていると感じました。

我が二戸ライオンズクラブは「世界の自然環境を浄化するには身近な地域から」との思いでマナーの啓蒙運動と清掃奉仕を続けてまいります。





2R1Z

花巻東ライオンズクラブ

L. 藤原 伸

新花巻駅から徒歩で訪れるファンも多い「宮沢賢治記念館」の近くに「イーハトーヴ館」があります。

花巻東LCがキャビネットを担当した、第62回年次大会の記念事業として取り組んだ「ライオンズの森」はイーハトーヴ館に隣接する市有地0.5haを借上げた林地で、小さなイスとテーブルを設置し、毎年刈払いや間伐材の整理等の作業を継続しております。

今年の地球環境デーのアクティビティとして4月10日の土曜日に繰り上げ、振替例会を兼ねて環境美化運動に取り組みました。

チェーンソー1台、刈払い機2台、鋏や鎌を数丁持参し、早朝6時に会員8名が集結。冬季間の積雪に押しつぶされた草や木は元気に息吹き始めていました。早朝の静寂の中、作業機械のエンジン音が響き渡ります。幸いなことに住宅地から離れおり民家はないので気兼ねすることなく作業に集中できました。

肌寒さはあったものの、好天に恵まれ作業ははか

どりました。笹の葉が繁茂し、雪で倒木した木々も目立つ。隣接する牡丹園の蕾はまだ先の様です。

沼地に通ずる堰に、倒木を使って架けた小さな橋が朽ち果てていたため、新しい倒木を利用し修繕を施しました。

およそ2時間の作業で、爽やかな汗をかいた後の飲み物は格別にうまかったです。

キャビネット担当の年次大会を終えて早5年の今年、この森の一角に記念碑を建立すべく現在取り組みを行っています。

この地を訪れる観光客の目に留まるよう、この森の環境美化のための活動を今後も取り組んでいこうと誓い合った地球環境デーでありました。



2R2Z

江釣子ライオンズクラブ

L. 佐藤 民生

国際環境地球デーに先立って、4月11日(日)午前6時から恒例になっている、2R・2Zの4クラブ合同アクティビティ、北上展勝地あじさい花壇の清掃を約80名で行いました。

今年は、北上展勝地100周年、民俗芸能公演60周年、北上市、和賀町、江釣子村三市町村合併30周年のトリプルアニバーサリーの一貫として、北上あじさいクラブと合同であじさい全株を咲かせようと、去年は咲き終わった花だけを切り落としました。

6月から9月まで展勝地レストハウスからサイクリングロードの北上川左岸にあじさいが咲くのを楽しみにしています。

北上ライオンズクラブは、4月22日6:00~7:00北上総合運動公園入口ウエルカムボードの花壇の清掃と周辺のゴミ拾いをL.9名LL.3名計12名の参加で行いました。

和賀ライオンズクラブは、4月23日6:00

より和賀町藤根の多目的催事場前のフラワーロード花壇の除草作業を17名の参加で行いました。

北上国見ライオンズクラブは、4月11日北上展勝地あじさい花壇の清掃を国際環境地球デーとして取り組んでおり、20名の参加で行いました。

江釣子ライオンズクラブは、4月22日9:00より江釣子古墳公園にシャラの木を植樹しました。8名の参加で行いました。



4R1Z

室根ライオンズクラブ

L. 小山 督雄

4月22日は「地球環境デー」。地球環境について考える大変意味深い記念日です。

次の世代に美しい地球を受け継ぐために「地球環境デー」はそれを再確認する1日です。

室根ライオンズクラブは正会員27名、家族会員19名、合わせて46名で活動しております。

当クラブは県最南端にあり、宮城県気仙沼市に隣接し、室根山があり自然豊かな町です。

アクティビティの活動の中に例年2月に室根山中腹にあります蟻塚公園の桜の木の剪定をし、4月には室根山山開きに合わせて桜の植樹活動を毎年継続して行ってきました。

又、環境美化のボランティア活動としては、折壁駅と新月駅の植木の剪定や草刈も継続しています。

今年は2月21日にJR大船渡線折壁駅構内の桜の樹勢が衰えたことから老木を伐採し、テングス病の除去剪定をしました。

例会にて、折壁駅にも桜の植樹を行うことを決めました。4月18日会員12人が参加し、JR様にも参加して頂き折壁駅の線路北側の敷地に重機を使い高さ3mほどの紅大山桜の苗木5本を植樹し、「地球環境デー」折壁駅美化事業記念植樹の木製の標柱を立てました。

駅から北の方を見ると雄大な室根山と線路沿いの桜を見ることが出来ます。

苗木の紅大山桜はあと何年かすれば立派な桜になると思います。駅乗降客や住民に桜を見てもらい心ませて頂きたく思います。

これからも環境への関心を持ち続け、自然を大切にすることを大事に奉仕活動を継続していきたいと思っています。



4R2Z

大船渡五葉ライオンズクラブ

L. 伊藤 壽太郎

大船渡五葉ライオンズクラブでは、12年ほど前から盛町の「みどり町公園」の清掃・草刈り作業を年2～3回のペースで行っています。

住宅地の公園という事もあり子供たちが大勢使用しており、町内会と連絡を取り合いながら、早朝6:00～7:00を目処に8人～10人ほどで皆草刈り機械を持ち寄り汗を流しています。

幸いにもほとんどの会員が草刈り機械を持っており、燃料共々持参してきます。

今年は天候が良く、雑草の成長が早く5月中旬に第1回の草刈り作業をする予定です。

近年は、町内会の人たちもライオンズクラブの作業を認識して、いろいろな場面で感謝さ

れています。

今後も、子供たちの遊び場の環境整備を重点に、地域社会に貢献して参りたいと思います。





5R1Z

久慈ライオンズクラブ

L. 谷地 裕貴

久慈ライオンズクラブでは、毎年3月に市内の小学校校庭の桜の木のテングス病駆除を実施しております。

昨年は、新型コロナウイルス感染症対策における活動自粛の為、当活動を中止せざるを得ない状況でありましたが、今年度は感染防止に配慮した形で実施をすることができました。

3月に行われた「テングス病駆除作業」は昨年実施する予定だった大川目小学校にて行いました。今年度は、当クラブもアクティビティらしいアクティビティをほとんど実施することができませんでしたが、作業当日は、高所作業車3台、当クラブより12名、学校関係者、PTA関係者を合わせて総勢18名の参加となり、2年ぶりの奉仕活動に参加者全員で気持ちのよい汗を流しました。

後日、大川目小学校の近くをたまたま車で通りかかったとき、ちょうど校庭を取り囲む

桜の木が満開で桜の花びらが飛び散るなかを、子供たちが校庭で遊んでいる光景をみかけて思わず写真をパチリ。この素晴らしい環境の中、未来ある子供たちが健やかにのびのびと育ってくれればと思うとともに、絶対に続けていきたい活動だと決意を新たにしたある春の日でした。



5R2Z

遠野ライオンズクラブ

L. 菊池 完

例年3月に「ライオンズ国際地球環境デー」に合わせ、遠野市^{おどろか}踊鹿の配水公園内の「ライオンズ梅林の剪定作業」を行っていましたが、今年はこのコロナ禍により中止せざるを得ませんでした。

今年は剪定を諦め梅の幹に着いたコケの除去作業と枯れた枝の撤去作業をすることにしました。コケを取り除くことで、冬の間外皮についた害虫や病気の胞子を取り除き、春になって目覚めた病害虫が暴れだすのを防ぐ効果があるとされています。遠野音頭に「ハァ〜ア うめっこほめたら さくらこすねた〜ア」と歌われているように、遠野では梅と桜の開花がほぼ同じ時期になります。

4月20日(火)、晴れ上がった空の下に参集したメンバー。僅かに咲き始めた梅と桜の花を愛でながら午前10時作業開始。コケ落としもなかなか力のいる作業、メンバーの額にも

薄っすら汗がにじんできます。約半分ほど終えたところで2時間経過。冷たく冷えたお茶を飲みながら後の半分は来期に回すことにして作業終了。今年もこれでたくさんの実が生ることでしょう。

6月の下旬には遠野に在住の被災された方々と収穫を楽しみたいと思います。



チャーターナイト **55周年** に思う

盛岡中津川ライオンズクラブ 会長 L. 佐々木 和夫

当クラブは55年前、盛岡不來方ライオンズクラブのスポンサーにより結成され2021年4月10日にCN55周年記念式典を石杜大会委員長の下で挙行すべく準備を進めて参りましたが、新型コロナウイルス感染防止対策のため誠に残念でしたが中止と致しました。

当クラブの資料を見ると40名のチャーターメンバーで発足しており、会員数が多い時には80名位、少ない時は30名位に減少し現在は54名で今なお会員増強に努力しています。

これまで2回キャビネットを担当させて頂き(1989年加藤芳太郎ガバナー(故)と2014年吉田昭夫ガバナーの時)ライオンズクラブの組織運営について学ぶことができ大変役立っています。

CN55周年記念日4月10日にアクティビティとして長年にわたり清掃活動や植樹している聖寿禅寺の境内に桜の樹木を植樹しました(国際地球デー活動を兼ねて)。記念日にふさわしい晴天の春日和、住職様に樹木が丈夫に育つように祈願をして頂きました。参加された皆で数十年先の大樹に和気あいあいと話しを膨らませ、賑やかな植樹が出来ました。

また、55年間先輩諸氏から継承され誇りとしている数々のアクティビティがあります。

主なアクティビティを紹介すると

- ①和光学園餅つき会44年……園児が美味しく食べる笑顔
- ②盛岡地区少年剣道大会42年……剣士の真剣、鍛錬を披露
- ③いわてスーパーキッズ発掘・育成事業支援……スキー選手、スケート選手として現在国内外で大活躍中
- ④東日本大震災支援事業として陸前高田市竹駒保育園支援10年……園児が楽しみな紙芝居やひな祭り等々

今期は、新型コロナウイルス感染防止対策に於いて運営に支障をきたしていますが、改革点として書面FAX会議・Web会議も進み始めました。

また、当クラブ所属西本地区GSTコーディネーターの下でMyLionアカウントの全員取得を目指して取り組んでいるところです(現在3割位)。新型コロナウイルスの早期終息を願い、皆様の益々のご健勝と各ライオンズクラブ様が通常の運営が一日も早く出来ますことを御祈念いたします。

55周年を節目とし、原点を重んじ新たなライオンズに向かって声高らかに一步一步前進して参ります。



チャーターナイト **50周年** に思う

盛岡観武ライオンズクラブ 会長 L. 高橋 幸雄

当クラブは、1970年12月5日に盛岡中津川ライオンズクラブをスポンサークラブとして結成され、1971年6月6日にチャーターナイトが行われてから、50周年を迎えることができました。

本来ならば、4月25日に50周年記念の式典を挙げる予定でした。しかし、昨春からの新型コロナウイルスが本格化し、岩手県でも7月から感染者が出ました。更に、クラスターが発生し急激に感染者増となりました。

当初は、短期間で終息するのではと思っていましたが、本年になっても収まる気配がなく、記念式典を延期せざるを得ませんでした(22年4月に予定)。

この記念式典を待ち焦がれていた当クラブの唯一のチャーターメンバーであるL.山崎正隆氏が2月7日に、更に、こども食堂を牽引してきたL.矢羽々睦子さんが3月7日に続けてご逝去され、会員一同無念な気持ちで一杯です。

新型コロナが1日も早く収まり、胸を張って

活動できる日が待ち遠しいです。

しかし、50周年記念のアクティビティは、順調に実行できております。

新型コロナ対策として、昨年8月にマスクを盛岡市に1万枚、青山地区の小中学校6校に5千枚を寄贈しました。又、こども食堂や会員にも2千枚を配布しました。

更に、青山児童公園(県営体育館前)に遊具一式の設置と公園整備をしました。

4月28日に谷藤盛岡市長、遠藤市議会議長及び地元町内会長や当クラブ会員が出席し、贈呈式を予定しています。

又、今までの周年アクティビティの整備も実施してきました。

これからも、「We Serve」を合言葉に会員一同「力」を結集し邁進して参ります。

今後とも、L.菊池徳男地区ガバナーをはじめ、各ライオンズクラブの皆様のお力添えをお願いいたします。



チャーターナイト **40周年** に思う

安代ライオンズクラブ 会長 L. 本宮 武彦

りんどう生産日本一の八幡平市安代地区。八幡平市は、「農（みのり）と輝（ひかり）の大地」を市の将来像に掲げて、旧西根町・安代町・松尾村の3町村が合併してから15年になりました。

私が安代ライオンズクラブに入会したのが、クラブ設立20周年記念の年でありました。1981年4月19日に盛岡南ライオンズクラブのお力添えにより、地区48番目のクラブとして、チャーターメンバー36名の会員で結成され、以来20年が経過しました。

25周年記念時の会員40名をピークに、30周年記念時36名、35周年記念時35名、そして今回の40周年記念時には26名と会員がさらに減少し、少子高齢化に伴い会員減少や例会出席率の低下など厳しい現実と直面しています。

「夢、希望、笑顔でウイサーブ」の精神で、20年間各種行事に積極的に参加するように努力してきましたが、特に年次大会には欠かさず出席し、毎回開催地の盛りあがりの熱気を楽しみながら、心底から感動してきました。

今回の40周年記念の年に、二度目の会長として記念式典、祝賀会等の計画が中止になっ

たことを本当に残念に思っております。

新型コロナウイルス感染が全国に広がりを見せ、世界各国が感染拡大している中で、新型コロナウイルスワクチンが、世界中の人に早急に接種されることを期待し、7月から開催の東京オリンピック及びパラリンピックが成功するためにも、一日も早い終息を願い、国内も平常に戻ることを祈念するものです。

創立40周年記念事業として、特別養護老人ホーム・りんどう苑に空間除菌消臭機2台（100万円相当）を贈呈しましたが、安代ライオンズクラブは、地域社会への奉仕を目的に昭和56年から5年ごとに、地元の小中学校や施設などに、いろいろな備品を贈呈したり、公園等に桜の木、イチョウの木を記念植樹したり、他にも様々なことを行ってきました。

今後も40周年の節目をステップとして、益々友愛の絆を深め、ライオニズムの高揚に努め、地域社会づくりに会員一同尚一層の努力をする所存であります。今後も各クラブからの変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様方の益々のご健勝とご多幸を祈念致しペンを止めます。



チャーターナイト 40周年 に思う

矢巾ライオンズクラブ 会長 L. 谷村 吉弘

今期40周年を迎えると同じに、震災から10年になり復興整備も進み、新たなスタートへと飛躍への足がかりになる思いで会長就任するはずでありましたが、コロナ流行の制圧が見出せない状況に有り、クラブ組織運営にも支障をきたしているが、会員の協力でアクティビティ事業に取り組んでいます。

当クラブは、紫波ライオンズクラブのスポンサーにより1981年12月13日に332-B地区(県内)49番目、世界では35,000番目に結成され、歴代の地区ガバナー始めキャビネット役員並びにスポンサークラブのご指導を頂き「We Serve」の精神で会員の団結の下、いくつもの苦難を乗り越え活動してまいりました。

今般、世界全体がコロナ禍の中で、人類に対する新たな試練が課せられているようにも感じているが、今までの生活様式からニューノーマルとした表現で、マスク着用・手洗いと消毒・小さい声での会話やリモート対話・研修など密閉・密集・密接の「三密」を避け行動しなければならない状況にあり、今後の組織運営やアクティビティのあり方など、創意工夫の必要性があるものと感じられます。

特に、経済不況や社会情勢の多様化する中、クラブやクラブ会員の減少などが見られ、社会全体が不安定な状況にあるが、今まで困難な時代を乗り越えてきた、世界中のライオンズクラブ会員と一体となり、度重なる苦難を克服しなければならないと思われまます。

尚、40周年を迎えるに当たり、L. 菊池徳男332-B地区ガバナー始め関係役員の皆様方、スポンサークラブを含めた多くの会員のご臨席を賜り、日頃の感謝を込めて式典並びに祝賀会の開催予定でしたが、中止とさせて頂き、矢巾クラブ内の事業として5年間の記録はDVDを作成し関係各位に配布いたしました。

アクティビティ事業は、矢巾町の教育委員会を通じて、各小学校へコロナ予防洗浄器具100個とアルコール消毒剤342リットルの配布並びに、予防啓発等の費用として矢巾町に10万円を寄付いたしましたことをご報告いたします。

45周年に向け、新たな気持ちで地域社会における奉仕活動に邁進する所存で御座います。引き続き、関係各位のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



花巻ライオンズクラブの紹介

会 長 L.阿部 勝俊

花巻ライオンズクラブは、盛岡ライオンズクラブのスポンサーのもと、1962年8月24日（CN:1963.6.23）日本順位461番、地区順位4番、チャーターメンバー34名で結成され、次年度はCN60周年を迎えます。

長い歴史の中で、特筆される大事業がありました。1971年（昭和46年）10月12日、東北新幹線県内停車駅の発表があり、盛岡、北上、一関の3駅で、花巻はありませんでした。当時、県下2番目の都市花巻を通過させる決定に大きな義憤を持ったクラブ会長が中心となり、「東北新幹線問題対策市民会議」を立ち上げました。市民総決起大会を開催、市民の絶大な支援を得て当時の国鉄本社、県、国会議員、国への陳情を繰り返し、苦節14年、新花巻駅開業に多大な貢献をしました。

今年度会長テーマは、『ライオニズムの継承と相互扶助で「We Serve」！』を掲げ活動をしています。コロナ禍の中、通常例会は各月2回を1回にし、あと1回はアクティビティを振替例会としています。多人数が対象のアクティビティは例年通りに出来ず、中でも障害福祉サービス事業所「こぶし苑」苑生との昼食交流会は、苑生リクエストの食事を提供し、参加会員と一緒に食事をして交流をしているのですが、今年は私が一人で食事の提供に訪問するという淋しいアクティビティになりました。制約のある中で、東日本大震災の支援として海外から贈られた楽器で結成された「金星少年少女オーケストラ」への10周年記念事業への支援が出来たことは震災10年目となる節目のアクティビティであったと思います。年2回の献血推進活動、清掃アクティビティ等は計画通りに消化しておりますが、クリスマス家族会やクラブの諸行事が思うように出来ないことが心残りです。

掲げた「ライオニズムの継承」は、かつて60名を越す会員を有し、先述の新幹線新駅の設置運動をした先導役に当時のクラブ会長始め6名の会員がいたこと、チャーターメンバーの私の亡父も裏方として参画していたこと、父が亡くなって翌年に私が入会した動機も、熱き「ライオニズム」とお互いを助け合う「相互扶助」の精神を見たからかもしれません。

新しい生活様式の中での活動を、あれこれ模索しながら進めているところです。



金ケ崎ライオンズクラブの紹介

会 長 L. 高橋美輝夫

高田松原再生支援事業は、コロナ禍の中でも、何としてでも実行したいと考えていた事業だ。「甦れ！景勝松原、希望の高田」を合言葉に取り組んで、今年で継続8年目となる当クラブの中心的な ACT である。

高田松原植樹地内での労力 ACT の他、「高田松原を守る会」との交流や沿岸の復興支援にも力を注いできた。今年度の取り組みについてご紹介したい。

【令和2年11月1日 竹簀・シート除去作業】

ボランティア活動に15名で参加した。高田松原を守る会の年内最後の活動日だった。

活動内容は、松苗を海風から防護する竹簀（竹で編んだすのこ）と防草シートの除去作業である。作業した場所では、2年前に植樹した松苗が順調に成長していたが、草の勢いも衰えていなかった。11月の海風が心地いいほどの汗をかきながらの作業は、体には相当に堪えたが、人が手を加えなければできない作業で、とても達成感があった。

**【令和3年4月25日 最後の高田松原植樹祭】**

高田松原再生植樹祭は3年計画で進められ、昨年は3回目の年であったが、コロナ禍のため中止となっていた。今年「最後の植樹祭」として開催され、13名で参加した。大勢の参加者がある中、コロナ対策として消毒、マスク・手袋の着用、周囲の間隔を気にしながらの活動となった。1本ずつ丁寧に植樹しながら、苗の順調な成長を祈った。また、「たまご村」（旧高田大隅つどいの丘商店街）での昼食や「東日本大震災津波伝承館」、道の駅「高田松原」や発酵パーク「カモシー」での見学・買い物を行った。



高田松原が震災前のような姿になるのは50年後と言われている。私たちは、その姿を夢見ながら、今後も支援を継続していこうと考えている。

訪れる度に違う顔を見せる陸前高田の街の今後にも注目していきたい。

一関ライオンズクラブの紹介

会長 L.相澤 克典

私ども一関ライオンズクラブは、来年（2022年）設立60周年を迎える地区でも老舗的なクラブであります。

クラブ設立当時は私の父の世代であり、会員の方々の多くは働き盛りの青年で、様々な活動を盛んに行っていたと聞いております。その後、この地域にも新しいクラブが設立され、それぞれに会員を増やしていかれたようです。

私自身は入会して未だ数年の若輩者で、先輩方の話や一関ライオンズクラブ年史などの情報から鑑みますと「ベテランの少数精鋭クラブ」へと変化し、今に至るのではないかと感じております。

そのような当クラブの成り立ちではありますが、現在は私も含めて二代目会員や新規会員も入会し、いい変化の時期に入ってきていると思われまます。

当クラブの経験豊かなベテランのライオンも新しいメンバーを温かく見守って下さり、楽しく社会貢献の仕方を伝授していただいたり、やりたい事を応援していただいております。「温故知新」、一関ライオンズクラブは今、そのような感じで家庭的で和やかで楽しい例会等を実施致しております。

私にできることは微力ではございますが、我が一関ライオンズクラブに今期のスローガン『What we can』を軸として豊かな人材や新たな変化を作り出せたらと思っております。

コロナ禍の中で活動が制限され、思うようにはいかない事が多い昨今ですが、今できる事、やりたい事は何か？それぞれが色々な意見を出し合い、何をどのように実行していけるかを先輩方と考えてしっかり準備している状態です。地元が一番古いクラブであり、又一番新しいクラブを目指して変化しつつあると思ひます。

他クラブの皆さまには今後もより一層のご指導と末永いお付き合いを宜しくお願い致します。



クラブ
紹介

一関中央ライオンズクラブの紹介

会 長 L. 小野寺秀徳

私ども一関中央ライオンズクラブは、1979年2月平泉ライオンズクラブのスポンサーにより結成され、4月22日に当時の菅彰ガバナーより認証状を伝達され、日本順位2304番332-B地区順位43番目の若いクラブでしたが、幾多の試練を乗り越え、現在の総会員数は96名チャーター会員も8名在籍し、安定したクラブとなり積極的に奉仕活動をしております。

継続事業として中学校新人サッカー大会、新入学児童ランドセルカバー贈呈、藤の園夏祭り、福光園慰問など、CN20周年には「豊かな森づくり基金」、CN30周年には「YCE基金」を創設、36年から「わんぱく寺子屋」を加え地球環境保全と青少年健全育成に力を注いでおります。

また、CN40周年には「未来創新基金」を創設。新しい未来を切り開く人材や団体を支援し育成する事業であります。平昌オリンピックで4位に入賞した岩渕麗羅さんに活動支援金贈呈、ILC国際リニアコライダー支援活動、盲導犬育成資金贈呈であります。

1988年には当クラブのスポンサーにより一関巖美溪ライオンズクラブの結成、2007年には岩手県立一関第二高等学校レオクラブの結成、又2012年には東京豊島西ライオンズクラブ（現東京巣鴨ライオンズクラブ）と姉妹締結し、ライオンズムの高揚にも努めて参りました。

特筆すべきは、これまで3人の地区ガバナーを輩出したことであり、1987年にはL.千葉一郎初代会長がガバナーに推薦され初めてキャビネット運営に参画し、最高の「We Serve」を体験しました。

1996年にはL.千葉實7代会長が当クラブ2人目のガバナーとなり、4月22日の国際地球デーを「地区一斉アクティビティの日」と提案し現在も引き継がれております。

2016年にはL.金野幸造18代会長がクラブ3人目のガバナーに就任しライオンズクラブ創立100周年の節目にリーダーシップを発揮されたことは記憶に新しいところであります。

新型コロナの中「勝」をテーマにコロナに負けない例会運営を目指し、例会も1月から弁当を持って帰る昼例会にし何とか最後まで月2回継続できそうです。

次年度には、元の生活に戻れことを願っております。



4月のアクティビティ

1R1Z		
盛岡LC	2日	フェイスシールド寄贈
	17日	国際地球デー 盛岡市中央公園に桜植樹
盛岡不來方LC	22日	国際地球デー 高松多目的広場・こがねパーク高松に桜植樹
	25日	子ども食堂
盛岡中津川LC	10日	国際地球デー 南部藩墓地へ桜植樹
盛岡親武LC	25日	子ども食堂
	27日	国際地球デー 小鹿公園清掃
盛岡南LC	7日	緑の募金
	17日	都南バスターミナル清掃活動
	25日	盛岡南LC杯U-9アイスホッケー大会
滝沢LC	5日	ヘッドネーション
	22日	国際地球デー 山桜剪定と歩道清掃
玉山姫神LC	—	
1R2Z		
二戸LC	11日	国際地球デー 清掃奉仕
西根LC	22日	献血推進活動
安代LC	29日	桜松公園内清掃活動
2R1Z		
花巻LC	22日	国際地球デー 豊沢川不動橋周辺の河川敷清掃
紫波LC	25日	国際地球デー ヤマボウシ植樹
石鳥谷LC	28日	ひかりの箱募金
花巻東LC	10日	国際地球デー ライオンズの森整備活動
矢巾LC	6日	矢幅駅周辺の清掃
2R2Z		
北上LC	3月	資源回収リサイクル活動
	11日	2R2Z合同ACT「展勝地あじさい周辺清掃作業」
	11日	台湾屏東市獅子會53周年記念共同ACT
	21日	LCIF\$1000献金
和賀LC	22日	国際地球デー 花壇整備
	3月25日	献血推進活動
	2日、21日	資源回収
	11日	2R2Z 合同 ACT 「展勝地あじさい周辺清掃作業」
北上国見LC	23日	国際地球デー 花壇除草作業
	1日	LCIF\$20献金
	8日、25日	献血推進活動 3カ所
江釣子LC	11日	2R2Z合同ACT「展勝地あじさい周辺清掃作業」
	2日、22日	国際地球デー 江釣子古墳公園に植樹
	11日	2R2Z合同ACT「展勝地あじさい周辺清掃作業」
	11日	献血推進活動
江釣子LC	22日	資源回収
	22日	資源回収
3R1Z		
水沢LC	—	
江刺岩手LC	—	
前沢LC	15日	前沢牛の博物館に桜植樹
	25日	献血推進活動

水沢中央LC	20日	国際地球デー ひまわり園に桜植樹
	21日	LCIF\$1000献金 LCIF献金 キャンペーン100
金ヶ崎LC	25日	高田松原再生支援
	30日	こどもみらい古本募金
胆沢岩手LC	12日	春の交通安全運動 一斉街頭指導
3R2Z		
一関LC	15日	国際地球デー 植樹桜メンテナンスと周辺清掃
	25日	献血推進活動
平泉LC	24日	国際地球デー 弁慶の森草刈り
花泉LC	20日	老人ホーム「プロンズスクエア」桜植樹
一関中央LC	9日	使用済み切手 1000枚送付
	25日	月一労力奉仕活動
一関巖美深LC	—	
4R1Z		
千厩LC	12日	春の交通安全運動
大東岩手LC	21日	大東小学校へ花の寄せ植えプランター寄贈
東山LC	9日、12日	春の交通安全街頭活動
藤沢岩手LC	15日	ヘッドネーション
川崎岩手LC	8日	川崎小学校へ図書寄贈
室根LC	12日	ヘッドネーション
	18日	折壁駅桜の植樹
	18日	ライオンズの森に山もみじ植樹
4R2Z		
大船渡LC	30日	声の図書館点検と整備
陸前高田LC	25日	高田松原へ松の植樹
住田LC	—	
大船渡五葉LC	25日	うみねこキッズ食堂へ支援
5R1Z		
宮古岩手LC	—	
久慈LC	22日	国際地球デー ツツジ・桜植樹
	22日	清掃活動
陸中宮古LC	—	
田野畑LC	—	
岩泉龍泉洞LC	22日	献血推進活動
5R2Z		
釜石LC	20日	国際地球デー 大渡り公園の草刈り清掃
遠野LC	7日	障害者施設支援リサイクル品の回収
	20日	国際地球デー 踊鹿配水公園内梅の苔落とし
釜石リアスLC	2日	国際地球デー 清掃活動
	8日	ひかりの箱協力店へ記念品贈呈
	29日	第30回釜石リアスLC杯釜石地域中学校バスケボール大会開催
大槌LC	—	
陸中山田LC	23日	LCIF\$100献金

ライオネスクラブ	
西根LS	10日 使用済み切手 4163枚送付
レオクラブ	
盛岡LEO	-
石鳥谷LEO	-

北上LEO	-
一関二高LEO	-
釜石LEO	-

会員動向

○ 4月 新入会員一覧

クラブ名	会員名 (新入/再入/転入)
盛岡観武 LC	L. 北 條 京

○ 2021年4月 LCIF \$ 1000献金

クラブ名	会員氏名	MJF回数
北上 LC	L. 菅 原 好 昭	11
水沢中央 LC	L. 村 上 孝	12

訃 報



盛岡不来方 LC
故 L. 藤村 義郎

享年 84 歳
1977 年 10 月入会
5 月 1 日ご逝去



子ども食堂 継続誓う

盛岡観武ライオンズクラブ

発起人・矢羽々さん先月急逝 遺志胸に活動を再開

盛岡市東山町の盛岡観武ライオンズクラブは、先月急逝された発起人・矢羽々さん(仮名)の遺志を胸に、子ども食堂の活動を再開することを誓った。矢羽々さんは、昨年12月に急逝された。生前、子ども食堂の発起人として、盛岡市東山町の盛岡観武ライオンズクラブで、毎月1回、子ども食堂を開催していた。矢羽々さんは、盛岡市東山町の盛岡観武ライオンズクラブで、毎月1回、子ども食堂を開催していた。矢羽々さんは、盛岡市東山町の盛岡観武ライオンズクラブで、毎月1回、子ども食堂を開催していた。

令和3年4月26日
「岩手日報」に掲載
されました

環境美化へ願い込め 室根LC 折壁駅に桜植樹



「アースデイ」に合わせてJ只折壁駅構内に桜の苗木を植樹した室根LCの会員ら

折壁駅を管理する東船形駅の折壁駅管理は、地域の皆さんの支えのおかげで駅や鉄道が滞りなく運行している。J只折壁駅構内に桜の苗木を植樹して、これからの春を快活に迎えていきたい。と、室根LCの会員らから、桜の苗木を寄附された。室根LCは、環境美化事業の一環として、折壁駅構内に桜の苗木を植樹した。室根LCは、環境美化事業の一環として、折壁駅構内に桜の苗木を植樹した。

令和3年4月22日
「岩手日日」に掲載
されました

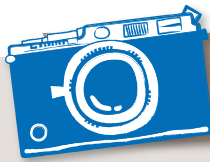
東水沢が優勝

水沢ライオンズクラブ(LC)が主催する第34回水沢LC大会兼第3回全日本少年軟式野球大会水沢予選(岩手日日新聞社主催)は、3日、奥州市の水沢公園球場で開かれ、東水沢中学校が優勝した。

水沢、東水沢、水沢両中学校の競技力向上を狙い、毎年3校でのリーグ戦を開催している。優勝の東水沢は、22日から山形県を会場に開かれる全大会に出場する。結果は次の通り。

東水沢14-13水沢南 水沢10-16水沢南 東水沢5-4水沢

令和3年5月5日
「岩手日日」に掲載
されました



アクティビティ フォトグラフ

安代LC



桜松公園内清掃活動

盛岡南LC



盛岡南ライオンズクラブ 杯
U-9 アイスホッケー大会

盛岡観武LC



国際地球デー 小鹿公園清掃

花巻LC



国際地球デー
豊沢川不動橋周辺河川敷の清掃

和賀LC



和賀LC・大阪南LC 合同ACT贈呈式

江釣子LC



植樹活動

水沢中央LC



国際地球デー 桜植樹

千厩LC



交通安全街頭活動

花泉LC



老人ホーム「プロンズスクエア」に桜植樹

釜石LC



大渡り橋公園清掃

釜石リアスLC



釜石リアスライオンズクラブ 杯
釜石地域中学校バスケットボール大会

陸前高田LC



高田松原 松の植樹

編集 後記

ライオンズに入会して二度目のライオンいわて副編集長の役目も、あと1か月となりました。今回は晴彦ガバナーのもと震災直後の編集委員会、今回はコロナ禍の中の編集委員会と、二度とも通常の活動ができない環境下での発行。本来であれば復興の様子をもっと取材に行く予定でしたが、行動制限の中それもままならず、各ライオン、とりわけZCの皆様には多くのご協力をいただいたことに感謝いたします。次号では、このような中でも万全の準備をして行われた年次大会の様子を掲載できます事が大変うれしく思います。
副編集長 L. 藤崎 信男(江釣子LC)

表紙の説明：男山 やすらぎの像

北上展勝地の南端に位置する男山の頂上にある像。台座を含め7メートルの高さがあります。昭和52年7月「人々の心のよりどころの場を作るために」と市民の私財で建立されました。あわせて山頂への道路も整備され山全体が緑地公園になっていて、観光スポットとして多くの人々が訪れています。

発行 2021年5月25日

ライオンズクラブ国際協会332-B地区 キャビネット事務局

ライオンいわて編集委員会

発行人：L. 菊池 徳男(北上国見LC)
編集長：L. 佐々木 正幸(北上国見LC)
副編集長：L. 菅原 浩(北上国見LC)、L. 藤崎信男(江釣子LC)
編集委員：L. 斎藤能久(北上LC)、L. 田鎖智也(北上LC)
L. 田村浩美(和賀LC)、L. 武田 実(和賀LC)
L. 及川純子(北上国見LC)、L. 菅野秀和(江釣子LC)

印刷：株式会社フジサキ
編集事務局：〒024-0061 岩手県北上市大通り3-1-1 JTSビル2F
TEL0197-64-5454 FAX0197-64-5869
E-mail: kunimilc@vesta.ocn.ne.jp